



■市長室を訪れたリリア・サンチェス閣下(左)

5月15日(月) 万博後も 変わらぬ友情

昨年開かれた愛知万博で、旧渥美町のフレンドシップ国であったドミニカ共和国から、リリア・サンチェス閣下（ドミニカ大使館臨時代理大使）が田原市を訪れました。この日は原功一さん（元渥美町長）も駆けつけ、再会を喜びました。リリア閣下は、田原市の印象を「海に囲まれドミニカに似ている。まるで自宅にいるような良いところ」と話してくれました。この後、市内の施設を見学・体験し、日本の文化に触れました。

Tahara City News

■たはらシティニュース／Tahara City News

4月>>5月



■発掘された縄文人骨の説明を熱心に聴く参加者

5月14日(日) 整備進む 吉胡貝塚

吉胡町の国指定史跡吉胡貝塚で説明会・見学会を開催しました。説明会では、平成19年度の完成に向けて工事が進んでいる公園整備の概要や、出土した土器・人骨などの報告を行いました。また、すでに完成した「貝塚平面展示施設」が初公開され、参加した皆さんは、施設の説明に熱心に耳を傾けていました。このほか、「古代人の暮らしの体験」として、北海道産の黒曜石を使った石のナイフづくりなども行いました。



■ジョージタウンの子どもたちにも田原風は大人気！

4月22日(土)～23日(日) “ケンカ” 魅せて “友好” 深まる

田原市の姉妹都市アメリカケンタッキー州ジョージタウン市で、第6回カイトフェスティバルが開催されました。今年も田原風保存会のメンバーら14人が駆けつけ、ケンカ風合戦を披露したり、風作り教室を開いたりするなど、田原風の魅力を存分にアピールしました。また、今年は「フレンドシップ・キルターズ」による“キルトづくり”を通じた交流も行われ、姉妹都市としての新たな発展が期待できる内容となりました。